



頻繁に訪れてもらえる、住み続けられる地域づくり

主担当部局：南部東部振興監



かすががーでん (山添村)



オフィスキャンプ (東吉野村)

目指す姿

魅力的な観光資源づくりや、情報発信の強化、多様なイベントの開催、仕事の確保や医療・福祉、教育などの充実、災害への備えなどを進め、南部地域・東部地域を「頻繁に訪れてもらえる、住み続けられる」地域にします。



●平成32年までに、
南部地域・東部地域の
交流人口(観光入込客数)を

830万人

にすることを目指します。

(平成26年:745万人)

●平成32年までに、
南部地域・東部地域の
交流人口(のべ宿泊者数)を

70万人

にすることを目指します。

(平成26年:58万人)

●平成32年までに、
南部地域・東部地域の
人口の社会増減を

プラス

にすることを目指します。

(平成26年:約マイナス1,600人)

●自分の住んでいる地域の活気や
魅力に対する

満足度

を高めます。

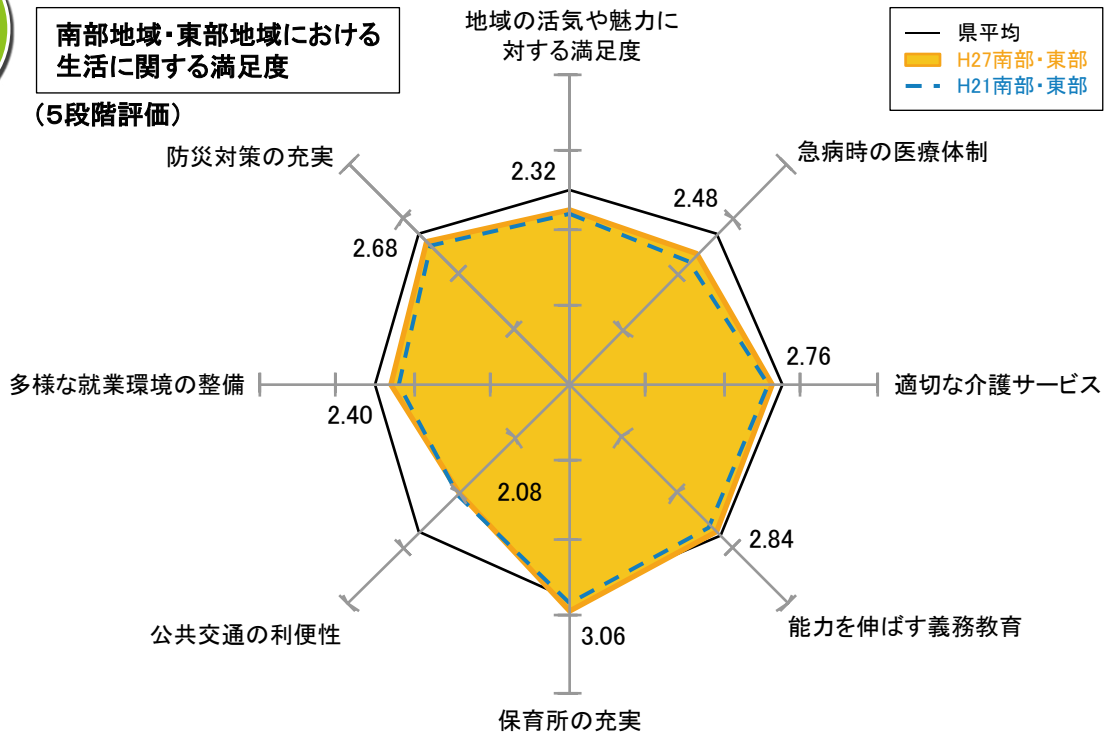
(平成27年度県民アンケート調査〈5段階評価〉
南東部地域2.26、南西部地域2.33、
東部地域2.36、県全体2.62)

現 状

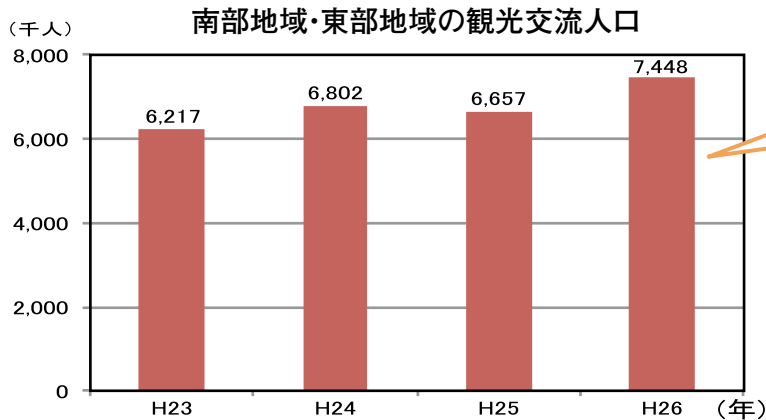
分析

■ 主な指標

南部地域・東部地域における生活に関する満足度 (5段階評価)

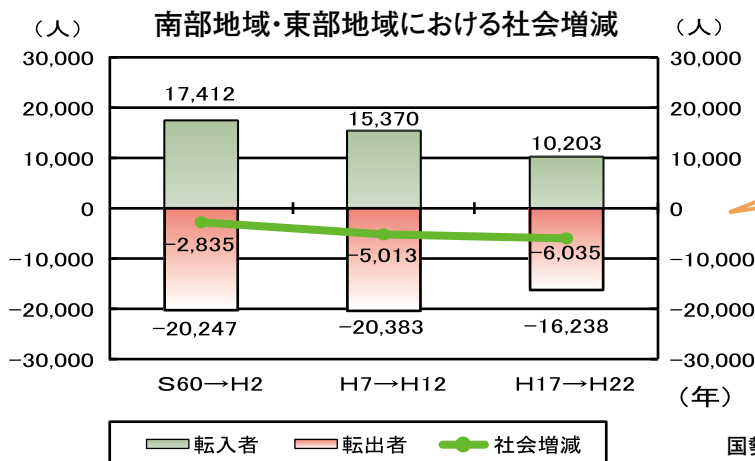


県民アンケート調査



平成23年には前年を紀伊半島大水害の影響により下回ったものの、翌年以降、回復傾向にあります。

観光客動態調査より作成



「転出超過」の状態であり、過疎化は進行しています。

国勢調査より作成

戦略1

南部地域・東部地域での交流を促進します。

主担当課：地域振興部 南部東部振興課、移住・交流推進室

戦略目標

- ▶ 特色ある観光基盤の整備を推進し、**南部地域・東部地域の魅力を向上**させます。
- ▶ 観光客数を増やすとともに南部地域・東部地域のファンを増やすため、**情報発信を強化**します。(平成28年度までに、移住ホームページ「奈良に暮らす」アクセス数を550,000件にします。(平成26年度492,453件))
- ▶ 観光客数を増やすため、**オフシーズンのイベント開催や、おもてなしの向上**などを進めます。(平成32年度までに、新たなイベントに対する支援を20件にします。)

取り組み

観光資源となる地域資源の発見と創出

特色ある食と宿泊施設等の整備推進
美しい景観づくり
地域資源を活用した魅力づくり
多様なスポーツ施設の整備

南部地域・東部地域の魅力を多くの人に知ってもらうための情報発信

情報発信の強化

実際に南部地域・東部地域を訪れてもらうための仕掛けづくり

スポーツイベントの開催
音楽・芸術イベントの開催
地域資源を活用したイベントの開催
交通アクセスの支援
おもてなし力の向上
誘客促進の仕掛けづくり



えんがわ音楽祭 (天川村)



奥大和ゆうゆう祭 (宇陀市)

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
観光資源となる地域資源の発見と創出				
◎特色ある食と宿泊施設等の整備推進				
・地域の食と農を活かしたオーベルジュ等の整備とネットワーク化	意向調査・全体構想	基本計画の策定支援	整備推進・ネットワーク化	
◎美しい景観づくり				
・「なら四季彩の庭」づくりの推進	市町村・地元団体等の支援、植栽計画の広報・普及			
・森林とのふれあい	立入利用、眺望活用のための整備	協働整備の実施・継続利用の推進		
◎地域資源を活用した魅力づくり				
・歴史・文化を活用した魅力づくり	飛鳥京跡苑池の公有化、遺構整備			
・地域交流施設の活用	うだ・アニマルパークにおける各種体験イベントの開催			
◎多様なスポーツ施設の整備				
・広域的な自転車利用ネットワークの整備推進	(仮称)京奈和自転車道の整備推進			
南部地域・東部地域の魅力を多くの人に知ってもらうための情報発信				
◎情報発信の強化				
・雑誌、Web、映像等による情報発信	様々な媒体等による情報発信			
・首都圏等での情報発信	奈良まほろば館、主要駅等での奈良の魅力の効果的な情報発信			
・外国人観光客への情報発信	外国人観光客交流拠点等での情報発信			
実際に南部地域・東部地域を訪れてもらうための仕掛けづくり				
◎スポーツイベントの開催				
・「KoboTrail～弘法大師の道～」の開催支援	「弘法大師の道」を活用したトレイルランニングレースの開催支援			
・アウトドアスポーツイベントの開催支援	開催支援			
・サイクルスポーツイベントの開催支援	開催支援			
◎音楽・芸術イベントの開催				
・音楽フェスティバルイベントの開催支援	開催支援			
・アーティストインレジデンスの開催支援	開催支援(年2回)			
◎地域資源を活用したイベントの開催				
・県・市町村等共同開催イベントの実施	継続開催			
・地域の特色を活かしたイベント支援	地域の特色を活かしたイベントへの支援			
◎交通アクセスの支援				
・路線バスを利用し地域へ来訪して宿泊した観光客のバス利用にかかる経費を支援	宿泊施設に対する補助の実施			
・観光地への良好なアクセス道路の整備	観光地へのアクセスの向上			
◎おもてなし力の向上				
・地域のおもてなし力向上支援	地域イベントを盛り上げる「おもてなし」プログラムへの支援			
◎誘客促進の仕掛けづくり				
・宿泊を伴う合宿の誘致	宿泊者誘致の取り組み			

戦略2

南部地域・東部地域での定住を促進します。

主担当課：地域振興部 南部東部振興課、移住・交流推進室

戦略目標

- ▶ 働く場所を増やすため、**農林業の振興や企業誘致**などを進めます。
- ▶ 健康・医療・福祉・介護の充実などを進め、**地域で「住みたい」「住みやすい」と思う人の割合を増やします。**
- ▶ 災害による死者をなくす・人命を守ることを最大の目標に、**できる限り被害を減少**させます。
- ▶ **南部地域・東部地域への二地域居住・移住者を増加**させます。
(平成32年度までに、地域受入協議会に対する支援を30件にします。)
(平成32年度までに、二地域居住や移住を促進するための拠点施設整備への支援を25件にします。(平成26年度2件)

取り組み

働く場所づくり

農産物等のブランド化・生産拡大の推進
 「A・B・C材全てを出して使う」林業・木材産業の推進
 漢方のメッカ推進
 企業誘致の推進、地域の産業興し

暮らしやすい地域づくり

健康、医療、福祉、介護の充実
 教育の充実、子育ての支援
 買い物等の支援、移動手段の確保
 文化の振興、集落の維持・活性化

災害に強いインフラの整備

インフラ整備と災害への備え
 防災力向上と紀伊半島大水害の次世代への継承

移住の推進

二地域居住・移住を受け入れる仕組みと拠点の整備
 移住者の働く場の確保



移住セミナー（都内）



古民家DIY体験（宇陀市）

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
働く場所づくり				
◎農産物等のブランド化・生産拡大の推進				
		柿老木園の更新・新規加工品開発、首都圏PR、輸出拡大・定着支援		
		高級かぶせ茶・てん茶の生産支援、リーフ茶消費促進		
	品質によるブランド認証制度の創設	柿等で品質によるブランド認証制度の運用		
◎「A・B・C材全てを出して使う」林業・木材産業の推進				
		奈良型作業道開設、林業機械導入等への支援		
・A・B・C材全てを搬出し多用途に供給する林業への転換		A・B・C材全ての搬出・運搬に対して支援		
		儲かる施業予定森林を掘り起こし、森林所有者と素材生産者をとをマッチング		
・A・B・C材毎の受け皿の確保と県産材製品の安定流通実現		木材産業の競争力強化のための取り組み実現		
◎漢方のメッカ推進				
		漢方の6次産業化に向けた具体的取り組みの検討・実施		
◎企業誘致の推進、地域の産業興し				
・中南和振興のための産業集積地形成		測量、設計、用地買収、造成等		
・南部地域・東部地域への企業立地を促進		南部地域・東部地域への企業誘致強化		
暮らしやすい地域づくり				
◎健康、医療、福祉、介護の充実				
・市町村における地域包括ケアシステムの構築を支援		市町村支援の実施		好事例の普及
・南和地域の医療提供体制の充実	南奈良総合医療センター新築工事		供用	
	吉野病院改修工事		供用	
		五條病院改修工事		供用
・へき地を支える医師の確保		自治医科大学卒業医師等の配置		
◎教育の充実、子育ての支援				
・県立高校の特色化、活性化		全国募集と環境整備		
・へき地教育の充実		教員確保、指導の充実		
・遠距離通学の支援		町村の遠距離児童生徒通学費支援事業に対し補助		
・職業教育等の充実		備品等の整備		
・「なら子育て応援団」の拡充及び子育て応援の県民運動の展開	子育て応援キャンペーン	子育て応援イベント開催		
◎買い物等の支援、移動手段の確保				
・過疎地域等における基幹的な生活交通の確保		関係市町村・交通事業者等との協議、施策の推進		
		連携協定に基づく奈良交通㈱との協議、施策の推進		
◎文化の振興、集落の維持・活性化				
・地域の伝統文化の継承		次世代の育成や被災地復興に対する支援		
・新しい集落づくり		市町村への支援		

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
災害に強いインフラの整備				
◎インフラ整備と災害への備え				
・紀伊半島アンカールートの整備	国道168号「五條新宮道路」及び国道169号の整備推進 ●国道168号川津道路供用予定 ●国道168号辻堂バイパス部分供用予定 ●国道169号奥瀬道路(Ⅱ期)供用			●国道168号辻堂バイパス供用予定
・効率的・効果的な道路防災対策の推進	対策の推進			
・土砂災害対策の推進	対策の推進			
・山地災害の予防と復旧	緊急度、重要度の高い箇所を優先し、早期に実施			
・河道の整備	紀の川の河川改修の実施			
・災害に強い森林づくり	森林整備のあり方の研究	● 指針の作成	今後の森林整備に活用	
・緊急時の情報通信ネットワーク確保	バックアップ回線の整備			
・地震に強い地域づくり	既存木造住宅の耐震化の促進			
・被災したインフラの復旧	完全復旧の推進			
・緊急時に備えたエネルギーシステムの構築	災害時エネルギー自給集落モデル事業の検討	LPガス発電導入支援		導入支援
◎防災力向上と紀伊半島大水害の次世代への継承				
・陸上自衛隊のヘリポートを併設した駐屯地の誘致	政府要望実施、気運醸成、防衛省が行う調査への協力			
・広域防災拠点の整備	基本構想策定、候補地調査、基本設計			
・市町村防災対策への支援	全市町村の防災計画見直し支援	市町村防災対策への継続的な支援		
・自主防災組織の組織化・活性化の支援	アドバイザー派遣、県政出前トーク、防災訓練支援			
移住の推進				
◎二地域居住・移住を受け入れる仕組みと拠点の整備				
・体験プログラム等の実施	相談窓口の整備、移住体験プログラムの実施			
・受入体制の整備	移住・二地域居住希望者の受入体制の整備			
・拠点施設の整備支援	モデルプラン作成			
	施設整備・運営を支援			
◎移住者の働く場の確保				
・農家民宿への支援	開業支援、情報発信			
・ふるさと復興協力隊・ふるさと創生協力隊の配置	配置・活動支援			

これまでの成果

吉野山から高野山までを舞台にした**トレイルランニングレース「Kobo Trail 2015」**を平成27年5月に開催しました。**167人が参加**し、このうち**9割超の人が再訪したい**と思っています。

移住セミナーを平成27年9月より**2回開催**し、のべ**46人**が参加しました。

★南部地域・東部地域の活性化を目指し、「**奥大和ゆうゆう祭**」を平成27年10月に宇陀市で開催し、**約2万人**の来場者がありました。

フランスの大規模見本市で行われた吉野材のPR活動を支援し、**吉野材を使った家具の商談が約100件**行われました。

★南部地域・東部地域の19市町村とともに「**奥大和移住・定住連携協議会**」を平成27年9月に**設立**しました。

森林とのふれあい推進事業を実施することで、**森林景観を楽しむ場として21カ所**を整備しました。

主な指標の動き

■よくなっている指標

急病時の医療体制に対する満足度

2.34
(平成21年度)



2.48
(平成27年度)

地域医療体制の整備が進みつつあることなどから、南西部地域、南東部地域、東部地域の全ての地域で満足度が上がりました。

能力を伸ばす義務教育に対する満足度

2.70
(平成21年度)



2.84
(平成27年度)

学習意欲の向上を図る取り組みなどにより、南西部地域、南東部地域、東部地域の全ての地域で満足度が上がりました。

多様な就業環境の整備に対する満足度

2.28
(平成21年度)



2.40
(平成27年度)

雇用の掘り起こしとマッチング支援や女性・高齢者の就業支援により、南西部地域、南東部地域、東部地域の全ての地域で満足度が上がりました。

適切な介護サービスに対する満足度

2.69
(平成21年度)



2.76
(平成27年度)

地域で暮らし続けるための仕組みづくりを進めていることなどにより、南西部地域、南東部地域、東部地域の全ての地域で満足度が上がりました。